

浅野教授らが研究発表

県立大 酵素活性分子の国際会議

県立大で開かれた国際会議
で発表する浅野教授（右奥）



射水

酵素活性分子国際
会議2022が30
日、射水市黒河（小杉）の
県立大射水キャンパスで始
まった。国内のほか米国や
ドイツなど海外から約18
0人が出席し、研究発表や
ポスター発表があった。1
日まで。

県立大の浅野泰久教授は
「酵素の探索、開発のため
のデジタルメソッドと光学
活性化化合物の合成への応

用」と題して説明。ヤスデか
ら発見したヒドロキシニト
リルリアーゼ（HNLI）など
有用な酵素の探索やタンパ
ク質工学の研究を、コンピ
ューターを活用して進めら
れる方法を報告した。ポス
ターによる発表もあった。

2014、16年に続く県
内開催で、県立大では初め
て。2日目もスピーチやポ
スター発表があり、優秀な
ポスターを表彰する。